

# 四日市市文化財保存活用地域計画 かわら版

第3号  
2022年6月

四日市市では、市内にある文化財の保存・活用を進めるために、「四日市市文化財保存活用地域計画」を作成しています。かわら版は、計画の作成にむけた検討の経過をお知らせしていきます。

## 市内各地区の歴史文化の特徴をまとめ、文化財のリストを作成しています

文化財保存活用地域計画の作成にあたり、指定等されている文化財だけでなく、地域で大切にされている歴史文化のお宝を含めて、地区ごとに「文化財リスト」の作成を進めています。作成したリストは、それぞれの地区と共有し、今後、文化財を継承していくために活用していきます。令和2年度より引き続き、令和3年8月～11月に市内の24地区にヒアリングを行いました。ヒアリングでは、リストの確認と地区の歴史文化の特徴を整理しました。



各地区の歴史文化を特徴付ける文化財



## 文化財保存活用地域計画策定協議会を開催しました

令和3年度は1回の協議会を開催しました。協議会は、学識者、関係機関の代表、市民・地域の代表、行政の14名で構成され、会長を鬼頭浩文・四日市大学副学長が務めています。委員それぞれの専門分野から四日市市における文化財の保存・活用について意見交換を行い、計画の策定に向けた協議を行っています。

令和3年12月21日に開催された協議会では、地区のヒアリングを通してまとめた地区の歴史文化の特徴について事務局より報告し、計画の骨格となる将来像・課題・方針、そして保存・活用の具体的な事業について協議を行いました。「歴史的な建物などを開放し、活用することが、所有者にとって将来的な利益につながるという発想が大事」「お祭りなど、見学者がお金を落として、伝えていく人にまわっていく仕組みを作ると良い」といった、一番の課題となっている担い手不足に対する具体的な意見が出されました。

令和4年度は3回の開催を予定しています。年度内に計画をとりまとめていきます。

## 計画作成のスケジュール

令和2~4年度の3年間で計画を作成し、令和5年度に文化庁へ申請、認定の予定です。新型コロナウイルスの影響等により、スケジュールが変更になりました。令和4年度は、これまで2年間の調査や協議会をはじめとした関係者の意見を集約し、計画を作成します。協議会の協議を通して作成した地域計画（素案）をもとに、市民意見を募集します。そこで出された意見を反映して修正を行い、地域計画として文化庁へ申請します。

